

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)8月5日 No. 1132

目次

ロシア新電気通信分野の状況②	坂口 泉 1
CIS諸国通貨の最新為替レート	13

ロシア新電気通信分野の状況②

はじめに 前回は、ロシアのセルラー電話の状況を中心に紹介したが、今回はロシアの衛星通信システム、および、インターネット業界の状況についてごく簡単に紹介することとする。

3. 固定衛星通信システム

(1) 国営企業「RSCC (ロシア宇宙通信)」社保有の衛星通信システム (静止衛星システム)

1) 衛星の構成 1998年半ば時点で活動中のロシアの静止通信衛星は全部で13機。内訳は、ゴリゾントが8、エクランが1、エクスプレスが2、ガルスが2であった。各衛星の詳しい用途は不明であるが、今のところ、主としてテレビ・ラジオ放送、国内電話、国際電話、データ通信等に利用されているものと思われる。また、今後、新鋭の通信衛星が打ち上げられれば、大容量のデジタル情報の伝送やインターネット等に利用されるケースも増えてくるものと思われる。

ガルス以外 (情報不足で何とも言えないが、ガルスは民間企業=恐らくメディア・モスト所有の放送衛星である可能性が高い) の国有通信衛星の静止位置は第11表のとおりである。

この他、ロシアの国営衛星通信システムでは、インテルサット (国際電気通信衛星機構)、欧州の民間企業アストラ、ユーテルサット等の外国の衛星も利用されているようである。